

## 令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
家庭	ファッション造形基礎	2	2-4

### 1. 学習の到達目標

- ・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて関連する技術を身に付けるようにする。
- ・被服製作やデザインに関する課題を発見し、解決する力を養う。
- ・衣生活の充実を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	1章 衣服の構成 1節 人体と衣服 2節 立体構成衣服と平面構成被服 2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類 〈実習〉 ミシン基礎縫い 〈実習〉 被服実習：浴衣 【小テスト】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の2つの形状（平面構成・立体構成）を学び、体系の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。</li> <li>・衣服が階級や身分の区別に用いられていたことや衣服と人権との関わりを認識する。</li> <li>・繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。</li> <li>・浴衣の構成を理解し、洋服との違いを理解する。</li> <li>・ミシンの構造を理解し、縫い方の技術の向上を目指す。</li> </ul>
2 学 期	〈実習〉 被服製作：浴衣 提出 〈実習〉 被服製作：幼児服（スモック） 【小テスト】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁縫に関する用具や基本的な知識・技術を習得し、平面構成衣服についての理解を深める。</li> <li>・年齢や着脱によって生じる影響を理解し、適応できる衣服をつくることができるようにする。</li> </ul>
3 学 期	〈実習〉 被服製作：幼児服（スモック） 提出 【小テスト】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。</li> <li>・被服素材の種類や特徴、性能について理解し、衣生活に生かしていけるようにする。</li> </ul>

### 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	小テスト、提出物、実習への参加などの授業態度等による
------	----------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	被服に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけることができる。	被服に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を活用して適切に判断・処理し、創意工夫する能力を身につける。	被服に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的にとり組む実践的な態度を養う。

### 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	ファッション造形基礎（実教出版）
副教材	なし